



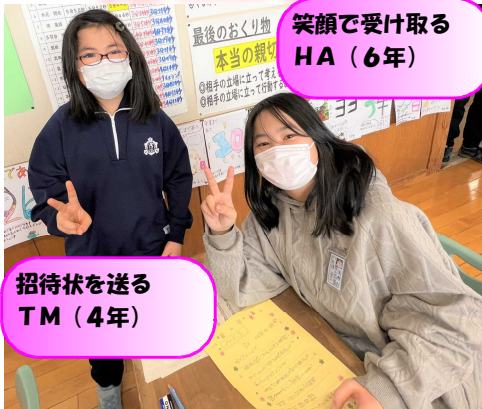
浅小HP
QRコード

あさなひ

令和4年3月2日（水）No.35

文責：校長 矢田部瑞穂

明日は「ありがとう集会」



笑顔で受け取る
HA（6年）

招待状を送る
TM（4年）

3月3日（木）明日はいよいよ「6年生ありがとう集会」です。5年生が先頭に立ち、1年生～5年生までが心を込めて、6年生に感謝の気持ちを伝える集会です。その日を前に、2月25日（金）読書タイムに、4年生から招待状、1、2年生からメダル、3年生から名札が6年生に贈られました。恥ずかしそうに6年生の前に立つ4年生以下の子どもたち、それを包み込むように見つめる6年生、そして、その雰囲気盛り上げようと後ろで拍手を送る5年生。みんなの気持ちは一つ。これまでたくさん優しく接してくれた6年生に感謝を伝えることです。明日は、きっといい日になる♪

2/24「嘉藤景林」を知る！



読み聞かせをしてくださった：袴田恒雄さん（左）と木都の説明をしてくださった：佐々木松夫木の学校所長（右）

2月25日の北羽新報にも掲載されましたが、能代木材産業連合会が能代の海岸砂防林の育成に力を注いだ嘉藤景林の功績をまとめ「嘉藤景林ものがたり」の紙芝居を製作し、24日にその製作発表を浅内小学校で行いました。製作発表に来校いただいたのは、本校応援隊の袴田恒雄さん（上写真左）と佐々木松夫木の学校所長（上写真右）のお2人です。本校では、5年児童9名が学校を代表して拝聴しました。能代の豊かな自然や人々の生活は、嘉藤景林のような先人が築き上げたことを知った5年生は、景林以外の先人にも興味をもったようです。今年度の全校遠足のテーマは「木都能代」でしたが、「木都」と言われる所以なども併せて学ぶことができた貴重な時間でした。「学び」には「きっかけ」が必要だと私は思います。この後も、子どもたちにたくさんの「きっかけ」をつくらせていきたいと思ひます。

真剣に耳を傾ける
5年生：左から
(IK・OS・HD)



2/25委員会バトンタッチ

2月25日の6時間目に今年度最後の委員会活動（話し合い）が行われました。各委員会を覗くと、6年生から後輩へのメッセージが伝えられていました。「委員会活動は大変なときもあるけれども、全校のみんなのためになっていると思うと、満足感があります。5年生、4年生は、4月からがんばってください！」本当に素敵なメッセージです。



図書委員会6年生：
左から（FK・HA・IH・KK）
★読書祭り楽しかったよ！ありがとう6年生★

2/28休み時間の風景

コロナ対策で体育館等を使用禁止にすることがあります。そんな時に子どもたちは何をしているのか各教室を回ってみました。右の写真は、お楽しみ会に向けてダンス練習に精を出す2年生！（左：HH 右：MR）



そして、2階に上がるとなやらありありがとう集会の練習でしょうか。極秘練習をしている6年生発見！

（左写真：HS）

※どんな状況であっても、自分たちで「楽しみ」を見付けることができる子どもたちのたくましさ感動します。



左から：HA・田中さん・IR・千代谷さん・HY)

3月1日の北羽新報にも掲載されましたが、今年度も、中浅内の笑寿会より、105枚の手作り雑巾が寄贈されました。2月28日に会長の田中吉嗣さんと副会長の千代谷咲子さん、会計の平川直善さんが来校し、健康委員会の6年生(HA・IR・HY)に雑巾を手渡してくださいました。笑寿会の会員も減っている中、浅内小の子どもたちの喜ぶ顔が見たいと今年も手作りしてくださいました。ここにも地域に愛される浅内小があります。ありがとうございます。



今野同窓会長より同窓会員証と記念品を受け取る6年生
左：SM
右：TJ

3月1日、今年度も、今野清孝同窓会長、大塚義道副会長、山田文雄副会長をお迎えして、浅内小146期生「同窓会入会式」がしめやかに執り行われました。同窓会長はフィギュアスケートの町田樹選手の言葉を引用し「今の状態を維持するのは『停滞』である。昨日より今日、今日より明日と成長するために努力を続けてほしい。」と、話されました。146期生となる6年生は、この歴史ある浅内小学校の同窓生となったことに気持ちを引き締めている様子でした。今年度は、6年生の要望で「浅内小学校」というネーム入りのペンを記念品としていただきました。新同窓生代表：KSさんの挨拶を聞いた同窓会役員の皆様方が、「大変立派だ。」と絶賛してくださいました。卒業が近付いてきていることを実感する厳かな「同窓会入会式」でした。



大海を知る！その16

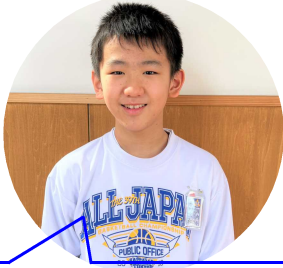
新同窓生代表の言葉
6年：KS

同窓会入会式



第24回秋田県小学校放送コンテスト

★優秀賞★
6年：HK



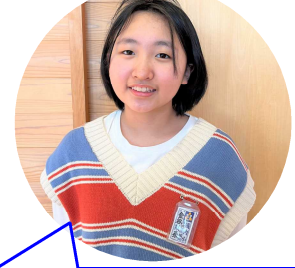
「ARIGATO」の文字を「エー・アール・アイ・ジー・エー・ティー・オー」と一文字ずつ呼んでから「ありがとう」と読んだことで優秀賞に繋がったと思う。どうしたら伝わりやすいかを考えることが大事だと思った。

★優良賞★
6年：HA



「ありがとう」という言葉が鍵になると思ったので、その言葉を特に丁寧にゆっくり読みました。卒業が近いこの時期の受賞！嬉しいです。

★優秀賞★
6年：KK



朗読の基本である、「ゆっくりはきはきはもちろん気をつけましたが、私は声優になりたいのどにかく「自分の声を好きになる」ということを念頭に心を込めて読みました。